

防護服の着脱法

< 標 準 >

- 防護服、ガウン、N95マスク、ゴーグル、手袋 -

当マニュアルは、SARSの標準予防策として作成したものです。
用途に応じ、使用してください。

佐 賀 県
(平成15年10月)

< 標準 >
・移送従事者 等

< 用意するもの >

- | | |
|----------------------|---------------|
| 防護服(フード付き) | ガウン |
| エプロン(必要に応じ使用) | N95マスク |
| ゴーグル | 手袋(インナー用) |
| 手袋(アウター用) | 長靴 |
| ・ビニールシート | ・椅子 |
| ・エタノールスプレー | ・バケツ(消毒剤用) |
| ・消毒剤(0.5%次亜塩素酸ナトリウム) | ・箱(再利用する資材入れ) |
| ・ゴミ箱(感染性廃棄物処理用) | |

< 着衣方法 >



1. なるべく軽装にする。
* 作業終了後に廃棄可能な着衣が望ましい。

2. 手袋(インナー)を付け、足元から防護服を装着する。
* 手袋はふくらませ、空気もれがないか確認する。
* あらかじめ手にパウダーをつけておくと、手袋をつけやすい。



3. 両腕を通し、ファスナーを首元まで上げる。
* ファスナーは、一番上まで上げない。



4. ファスナーカバーについている両面テープをはがし、密閉するように張り付ける。
* 口元部分のカバーは、マスク装着後に貼り付けること。
* 手袋(インナー)は、ガウンの袖の中に入れること。



5. 防護服の裾を持ち上げて長靴を履く。



6. 長靴の上から、防護服の裾を覆う。



7. マスクはフィットテストを行い、隙間のないように装着する。



8. 髪の毛が出ないように、深くフードをかぶる。



9. あごの下までファスナーを上げる。



10. ファスナーカバーの口元部分を貼り付ける。



11. ゴーグルをつけ、ゴムバンドを締めて密着させる。



12. ガウンの袖を通し、中ひもを結ぶ。



13. マジックテープを付けた後、後ろひもを結ぶ。



14. 腰部の外ひもを結ぶ。



15. 外側(アウター)手袋をつける。
*外側(アウター)手袋は、ガウンの袖の上に被せること。



16. 装備完了



17. 必要に応じ、エプロンを着用する。

< 脱衣 >

作業後は、汚染しているものと考え、特に慎重に脱衣を行うこと。

ビニールシートを敷き、汚染ゾーンを設定する。

廃棄物は、全て”感染性廃棄物”として、取り扱うこと。

椅子は、ビニールシート上にあらかじめ準備しておくこと。(端に置いておくこと)



1. 外側(アウター)手袋を消毒する。
2. 長靴を消毒する。(スプレーでかける。又は、消毒剤の中につける)
3. 外側の手袋は、丸めるように外し、感染性廃棄物入れへ廃棄する。
* 手袋は裏表になるよう外すこと。



4. 内側(インナー)手袋を消毒する。
(汚染部位に触れたときは、その都度消毒する。)



5. 介助者にマジックテープと紐を外してもらう。



6. 裏返しになるよう脱ぐ。
(その後、手袋を消毒する。)



7. ゴーグルを外す。
* 再利用する場合は、専用箱を用意しておく。



8. ファスナーカバーの両面テープを外す。



9. ファスナーを首もとまでおろす。



10. フードの付け根部分を持ち、フードを裏返すように外す。



11. ファスナーを下までおろす。



12. 防護服を両肩から外し、両腕が、防護服の表側をさわらないように脱ぐ。



13. 防護服の表側を包み込むように脱ぐ。
* 裏表になるように脱ぐ。



14. 椅子に腰掛け、防護服を下まで下げ、長靴を脱ぎ、シート(汚染ゾーン)から出る。
* 椅子は転倒防止のために使用する。



15. インナー手袋を消毒する。

16. マスクを外す。
* 両端を持って、上に持っていき外す。



17. インナー手袋を外す。
* 裏表になるよう外す。
* 片方の手袋を外したら、脱いだ方の手の親指を、装着した手袋の内側に入れて、引っかけるように外すとよい。

18. 肘から下(手)を消毒し、その後、入念に石鹸と水で手を洗い、シャワーを浴び全身を洗う。
* 室外(更衣した部屋の外)に出た際は、念のため、もう一度手洗いをする。

<シート使用後に>



1. 介助者はゾーンニング用のシートを消毒する。



2. シートを畳む。



3. シートを0.5%次亜塩素酸ナトリウムに漬け消毒する。